

大分教育事務所訪問②-28 (計101)

臼杵市立海辺小学校に学ぶ2

学校経営から学ぶ

ことばや思いをつなぎ合う児童を育成するために、育成を目指す(教科横断的な)資質・能力を「言語能力」と定め、重点目標も「読み取る力(知識・技能)」「伝え合う力(思考力・判断力・表現力等)」「よりよい人間関係を築く力(学びに向かう力、人間性等)」と、ことばや思いを意識しながら定めたことで、構造的な目標設定となっています。

注目すべき点は、毎月の全学年の単元テスト等を細かく分析を行い、教職員の実践が子ども達にどれだけ定着したかを数値化することで、支援をする子どもを明確にしたり、翌月の取組指標の設定に生かしたりしていることです。

今後は、訪問の際に行ったような「言語能力」等について、全職員で協議をすることを通して、より具体的な目標としてみてはいかがでしょうか。「言語能力」における共通理解がすすめば、重点的取組の目的がより明確になることで、具体的な取組は担当者や児童会にも任せることができ、それぞれの当事者意識が高まると思いました。

授業から学ぶ

学校をあげて、言語活動をとおして、ことばや思いをつなぎあう児童の育成を目指しているので、それぞれの授業において、学び合いや発表の場を設けていました。

今後は、指導案の「めあて」については、本時で目指す「活動のゴールの姿」や「ゴールとそれまでの道筋」となることを確認したり、「振り返り」は教師が願う具体的なゴールの姿を「子どもを主語」で表してみたりしてはいかがでしょうか。そして、互見授業等で教師が考えた「振り返り」と子どもが実際に書いたものとの違いや、「めあて」との連動、評価規準との整合性について協議することで、授業改善がより推進されると思いました。



NO.444 2021年10月 臼杵市立海辺小学校

安心・安全

フォローしてくれる友達がいる。  
見守っている先生や仲間がいる。  
だから思いっきりできる。



NO.446 2021年10月 臼杵市立海辺小学校

学びは対等

自分の考えを伝える。友達の仕事の良さを知る。正解はないから、みんなで考える。



NO.447 2021年10月 臼杵市立海辺小学校

聴く・見る

先生の説明をしっかりと聴きながら、黒板に書かれたことを考えながら見る。



NO.445 2021年10月 臼杵市立海辺小学校

からだでわかる

面積や体積の計算はできるけど、量の概念は体験しないとわからない。